



藍原 章 議員

シビックテック  
(civic tech)について

シビックテックの活用について

市の考えを伺う

**答** 地域の課題解決や生活の利便性向上につながることを期待しています

**問** シビックテックの活用について市の考えを伺う。

**答** 政策部長

シビックテックは、市民目線での気づきや市民が持つIT技術などを生かして、公共サービスの改善や身近な課題解決につながる取り組みであり、この取り組みを後押しするのは、国や自治体が保有する公共データの民間開放（オープンデータ）であることから、市としても積極的にデータを公開していくことで、地域の課題解決や生活の利便性向上につながることを期待しています。

**問** 高島市でシビックテックを活用した事例はあるのか伺う。

**答** 政策部長

本市のオープンデータで公開しているAEDの設置場所を、地図上に分かりやすく表示しているアプリや、市の路線バスの時刻表データを活用して地図アプリでルート検索ができるといった活用事例があります。



**問** 若者や子育て世代からの公共サービスのニーズ拡大をどのように把握しているのか。

**答** 政策部長

電子申請システムを利用された方へのアンケート調査により、DX推進のニーズと効果はあると認識しています。令和6年度には、保育ICTシステムを導入し、スマートフォンアプリで園児の健康管理や保護者との連絡などが行えるようになる他、公共施設の利用予約をオンラインでできるシステムを導入する予定であり、利便性の向上に向けた取り組みを進めます。

**問** マイナンバーカードなどの利便性を活かすガブテック(Gov tech)の取り組みについて伺う。

**答** 政策部長

ガブテックは行政機関が主体となる取り組みであり、本市ではDX推進戦略を策定し、47項目の施策を進めています。

その一つとしてマイナンバーカードで行える電子申請手続きを順次拡大しており、現在、市民の8割を超える方がマイナンバーカードを保有されている中、今後、マイナンバーカードの利用範囲をさらに拡大し、利便性が実感いただける活用方法についても検討を進めます。

その他の質問

使用済み紙おむつの再資源化について